

学校教育目標

「自主・協力・創造」

研究主題

「生徒が主体的に学び、考えを深める授業づくり」

小中合同研究主題「読む力・思考力・表現力を高めるための指導方法の研究」

豊かな人間性

教育活動全体を通じた道徳教育の推進
支援を必要とする生徒への対応の充実

健康・体力

体力や運動能力、健康に対する意識の向上
学校全体における健康教育の充実

資質・能力の育成

基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

- ★つながる力（人間関係形成能力・社会形成能力）
 - ①その場にに合わせて、行動することができる。
 - ②共感しながら意見をきくことができる。
 - ③相手や場に応じて、分かりやすく伝えることができる。
- ★みつめる力（自己理解力・自己管理能力）
 - ④自分の強みや弱みを把握することができる。
 - ⑤学んだことをこれからの生活に生かすことができる。
- ★やりぬく力（課題対応能力）
 - ⑥課題を発見して、向き合うことができる。
 - ⑦問題の解決に向けて、自ら考え、行動することができる。
- ★切り拓く力（キャリアプランニング能力）
 - ⑧自分の生き方について、考えることができる。

何が身に付いたか

- ★つながる力（人間関係形成能力・社会形成能力）
 - ・学校生活や地域の中で、積極的に挨拶をすることができる。
 - ・授業において、相手の考えを聴き、自分の考えを分かりやすく伝えている。
- ★みつめる力（自己理解力・自己管理能力）
 - ・各教科で学んだことを、課題解決のために結び付けて考えている。
- ★やりぬく力（課題対応能力）
 - ・授業や学校生活における課題に対して、積極的に解決方法を考えている。
- ★切り拓く力（キャリアプランニング能力）
 - ・夢や目標を持ち、主体的に考えて、自己決定している。

生徒の実態

- 情報を活用して臨機応変に表現する力が弱い。
- 学習したことを生活に生かそうとする力が弱い。
- 自己判断力が弱く、粘り強く学習に取り組むことができない。

子どもの発達をどのように支援するか

- ・情報共有の充実。
- ・スモールステップを実感。
- ・インクルーシブな相互理解。

目指す生徒像

- 夢や目標に向けて努力する。
- 他の人を思いやる心や社会貢献の精神を持つ。
- 基本的な生活が確実にできる。

何を学ぶか

- 【知】
 - 授業力の向上「主体的・対話的で深い学びの実現」
 - 生徒の実態を捉えた家庭学習、加力学習の充実
- 【徳】
 - 一人ひとりの思いを繋ぐ教科「道徳」の研究
 - 安心した学校生活への取組
- 【体】
 - 体育科や部活動での積極的な取組
 - 食に関する指導の充実

学校キャラクター
おつくん



どのように学ぶか

- ・カリキュラムマネジメントの視点を取り入れた校内授業研究会の実施。
- ・単元配列表を活用した教科横断的な視点での単元構想及び授業提案。
- ・教科主任会、教科部会の計画的・効果的な実施。
- ・検証改善を押さえた加力・宿題等の計画・実施。
- ・生徒の興味・関心を高める道徳の教材開発及び指導案作成。
- ・家庭・地域への道徳だより等での発信。
- ・各関係機関との連携。
- ・小中連携による生徒理解。
- ・校内サポート委員会による支援体制の確立。
- ・ナチュラルサポーターの啓発。
- ・体育科における指導展開及び教材教具の工夫。
- ・保健だよりによる生徒・家庭への啓発。

実施するために何が必要か

- 次期学習指導要領を捉えた研究体制の整備
- 積極的な生徒指導（共感的な関わり）
- 地域との連携・信頼関係

安心・安全を守る

- 防災安全教育の充実
- いじめの根絶

開かれた学校づくり

- 地域学校協働本部の設置
- 学校だより
- 地域行事への参加